

100%手づくりのお世話®

親御様のための無料セミナー
個別相談も承ります。(無料)



成婚率の高さがキメテ!!

Marriage Road® 結婚

Em Roadはここが違います

1 成婚率の高さ

2 質の高い会員層

3 自社会員のみ構成

資料請求・お申し込み・お問い合わせ

(株)Em Road

0120-4122-46 10:00~18:00 水曜定休

資料請求 無料

- スタンダードコース
- ドクターズコース

大阪本社
事務局

〒530-0043 大阪市北区天満3-2-2 エムロードビル3F

神戸 京都 東京

https://www.m-road.co.jp/



大阪医科薬科大学 仁泉会 ニュース

仁泉会ニュース 第56巻第3号

発行所
〒569-8686 高槻市大学町 2-7

電話 FAX
072-682-6166 072-682-6636

発行者 発行部数
安藤嗣彦 6,300部

URL
http://www.jinsenkai.net

春陽浴びて、
暑熱順化を。

令和7年度定期評議員会及び
総会開催のご案内

日時: 令和7年5月25日(日)

場所: ANAクラウンプラザホテル神戸(詳細4~5頁)

HOMECOMING DAY

第1回 大阪医科薬科大学 医学部

ホームカミングデー

令和7年
10月5日 [日]
午前11時～
【受付開始：午前10:30】

企画の詳細など、決定次第、ホームページにてご案内します

募金推進本部ホームページ



【共催】

学校法人大阪医科薬科大学 募金推進本部

TEL:072-684-7243

一般社団法人大阪医科薬科大学仁泉会（医学部同窓会）

TEL:072-682-6166

お問い合わせ

キャンパス見学

新病院本館
&
手術棟見学

医師のための相続、
事業承継に関する
個別相談

終活や遺贈に関する
講演

入試相談

目次

- P4 令和7年度定期評議員会及び総会開催のご案内
- P6 祝・藤田医科大学医学部 腎泌尿器外科学講座主任教授ご就任！ 高原 健先生 (学48期)
- P7 祝・川崎医科大学泌尿器科学主任教授ご就任！ 小村和正先生 (学54期)

表彰報告

- P8 厚生労働省労働基準局長表彰 河野公一先生 (学21期)
- 稲田泰之先生 (学41期)

受賞報告

- P8 第53回 医療功労賞受賞 弓場通正先生 (学26期)

祝・卒業 令和6年度卒業証書・学位記授与式

- P10 令和6年度 卒業式 式辞 大阪医科薬科大学学長 佐野浩一

支部だより

- P12 大阪医科薬科大学仁泉会大阪府連合会主催の第1回産業医講習会の報告 福本敏子 (学24期)
- P13 北区支部総会開催報告 太田祥彦 (学38期)
- P14 東住吉・平野支部令和6年度支部総会及び懇親会開催報告 長谷川利雄 (学32期)
- P15 仁泉会宝塚支部懇親会開催報告 辰井 光 (学32期)
- P16 第51回 仁泉会奈良県支部総会報告 橋本恵介 (学42期)
- P17 学部35期 園村哲郎 湯川裕史 (学29期)
- 和歌山医大放射線科教授退官に際して
- P19 大阪医科薬科大学仁泉会岡山支部総会報告書 小出尚志 (学28期)
- P20 令和7年 大阪医科薬科大学仁泉会高知県支部総会・新年会 市原直子 (学24期)
- P21 支部長交代のお知らせ
- 昭和57年卒業(学31期)同窓会開催のお知らせ

仁泉ひろば

- P22 電線に10羽の鳥が… 大隈義彦 (学9期)
- P23 令和6年度 大阪医科薬科大学医学部バスケットボール部OB・OG会 総会開催の報告 宮崎信一郎 (学52期)

- P24 冊子切抜 土井秀明先生 (学36期)
- P25 新聞切抜 萩森伸一先生 (学38期)
- P26 まんが第73回 コーンポインタージュース (学31期)

本部だより

- P27 会員計報
- P29 編集後記 開業しました！ 王 衣里子先生 (学58期)
- P31 大阪医科薬科大学女性医師の会 第4回医療講演会のご案内

令和7年度 定期評議員会及び総会開催のご案内

令和7年度の仁泉会定期総会及び評議員会を下記の要領にて開催いたします。お手数ですが出欠を同封の総会葉書（兼委任状）にて必ずご返信ください。

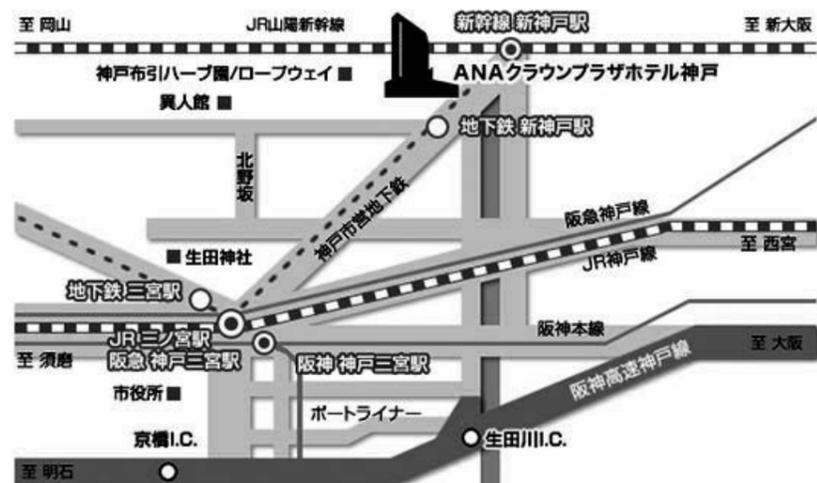
今年は神戸にて開催いたします。ご多忙とは存じますが多数のご参加をお待ちしております。

大阪医科薬科大学仁泉会
理事長 安藤 嗣彦
令和7年5月1日

日時：令和7年5月25日（日）
午後2時40分より評議員会
午後3時より定期総会
午後5時より懇親会
会場：ANAクラウンプラザホテル神戸
9階「ローズマリーの間」
懇親会 9階「カモミールの間」

【お問合せ先】
大阪医科薬科大学仁泉会事務局
Tel : 072-682-6166
Fax : 072-682-6636
E-mail : info@jinsenkai.net

ANA クラウンプラザホテル神戸ご案内地図



- JR山陽新幹線・神戸市営地下鉄「新神戸駅」直結。
- 三宮（JR・阪神・阪急・ポートライナー）より神戸市営地下鉄でひと駅
- お車でのご来場はご遠慮下さい。

令和7年評議員会次第

- 議案
 - 評議員改選について
 - その他

令和7年定期総会次第

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 開会の辞 | 9. 議案 |
| 2. 物故会員に対する黙祷 | ①令和6年度決算承認を求める件
監査報告 |
| 3. 理事長挨拶 | ②役員選任を求める件 |
| 4. ご来賓挨拶 | ③その他 |
| 5. 仮議長指名 | 10. 集合写真撮影 |
| 6. 議長選任 | 11. 閉会の辞 |
| 7. 議事録署名者選出 | |
| 8. 報告事項 | |
| ①令和6年度事業報告 | |
| ②令和7年度事業計画について | |
| ③令和7年度予算について | |



受章・受賞の際は編集部にお知らせください

各地での喜びの受章・受賞等がございましたら、事務局あてに書面、新聞などをお送り下さい。FAX、メールでのお知らせも歓迎いたします。本誌にて広く紹介させていただきます。 編集係

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
e-mail / jimuj@jinsenkai.net



祝・藤田医科大学医学部 腎泌尿器外科学講座主任教授ご就任！ 高原 健先生(学48期)

ご挨拶

文責／高原 健（学48期）

大阪医科薬科大学仁泉会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。このたび、2025年4月1日付で藤田医科大学 医学部 腎泌尿器外科学講座 主任教授を拝命いたしました高原 健と申します。

私は1993年4月に大阪医科大学（現 大阪医科薬科大学）に入学致しました。大学時代はサッカー部に所属し、多くの仲間と至福の時を過ごしました。1999年3月に卒業後、同年4月に大阪医科大学 泌尿器科に入局し、関連病院での勤務を含め約9年間、泌尿器科の臨床および基礎をしっかりと学ばせていただきました。その後、2008年4月よりカナダブリティッシュ・コロンビア大学に留学し、前立腺癌の基礎研究に従事しました。2017年4月からは藤田保健衛生大学（現 藤田医科大学）腎泌尿器外科において、臨床と研究の日々を重ねております。

藤田医科大学は約1500床を有し、日本国内で最大規模の病床数を誇る大学病院です。特に外科系診療科はロボット支援手術に注力しており、da Vinci Xi Surgical System 3 台、da Vinci SP Surgical System 1 台、hinotori サージカルロボットシステム 1 台、Hugo RAS システム 1 台の計6台の手術支援ロボットが稼働し、年間約900件のロボット支援手術を施行しております。今後もロボット支援手術などの低侵襲手術を積極的に推進し、合併症の軽減と機能温存に優れた手術を提供できるよう、医局員一同、研鑽を重ねてまいります。

これまでお世話になった先生方や同窓の皆様、関係者の皆様への感謝の気持ちを忘れず、これからも精進してまいります。

今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



高原 健先生ご経歴

- 1993年 大阪星光学院高等学校 卒業
- 1999年 大阪医科大学 医学部卒
- 1999年 大阪医科大学 腎泌尿器外科 研修医
- 2001年 大阪医科大学 腎泌尿器外科 専攻医
- 2002年 大津赤十字病院勤務
- 2003年 大阪府済生会茨木病院勤務
- 2005年 大阪医科大学 腎泌尿器科外科 助手
- 2008年 ブリティッシュ・コロンビア大学 Vancouver Prostate Centre 研究員
- 2011年 済生会中津病院勤務
- 2013年 大阪医科大学 腎泌尿器科外科 助教
- 2015年 大阪医科大学 腎泌尿器科外科 講師
- 2016年 大阪医科大学 腎泌尿器科外科 診療准教授
- 2017年 藤田保健衛生大学医学部 腎泌尿器外科学講座 講師
- 2018年 藤田医科大学医学部 腎泌尿器外科学講座 准教授
- 2025年 藤田医科大学医学部 腎泌尿器外科学講座 主任教授



祝・川崎医科大学泌尿器科学主任教授 ご就任！ 小村和正先生(学54期)

ご挨拶

文責／小村和正（学54期）

このたび、2025年2月1日付で川崎医科大学 泌尿器科学 主任教授を拝命いたしました小村和正と申します。ここに謹んでご挨拶申し上げます。

私は2005年に大阪医科大学（現：大阪医科薬科大学）を卒業後、大阪済生会中津病院での研修を経て、大阪医科大学泌尿器科学教室に入局いたしました。その後、市立ひらかた病院での勤務を経て、2012年より大阪医科大学助教、2019年より講師として、診療および研究に携わってまいりました。また、2014年からは米国ボストンの Dana-Farber Cancer Institute ならびにニューヨークの Memorial Sloan Kettering Cancer Center において、泌尿器がんの研究に従事いたしました。

私の専門は泌尿器がん治療であり、とりわけロボット支援手術を中心に診療を行ってまいりました。近年、この分野ではロボット支援手術の発展や臓器温存治療の進歩が目覚ましく、高齢化が進む患者様にとって、より負担の少ない治療法の開発が求められています。私自身も、患者様一人ひとりに最適な治療を提供できるよう、新たな技術の導入や治療法の研究に取り組んでおります。

今後は、これまでの経験を活かし、「患者様のニーズに寄り添う医療」を実践するとともに、若手医師の教育にも尽力してまいります。診療・手術を主体的に経験できる環境を整え、次世代を担う医療人材の育成にも力を注ぎたいと考えております。

この機会に、母校であり、私を育ててくださった大阪医科薬科大学仁泉会の皆様へ、心より感謝申し上げます。常に感謝の気持ちを忘れず、誠実に臨床・教育・研究に取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



小村和正先生ご経歴

- 1999年 3月 京都私立ヴィアートル学園洛星高等学校卒業
- 2005年 3月 大阪医科大学 医学部 医学科卒業
- 2005年 4月 済生会中津病院にて臨床研修開始
- 2007年 4月 大阪医科大学 レジデント(泌尿器科学教室)
- 2009年 7月 市立ひらかた病院 医員
- 2012年 1月 大阪医科大学 助教(泌尿器科学教室)
- 2014年 4月 リサーチフェロー、ダナファーバー癌研究所、ボストン、米国
- 2016年 5月 シニアリサーチフェロー、メモリアルスローンケタリング癌センター、ニューヨーク、米国
- 2017年 7月 大阪医科大学 助教(泌尿器科学教室)
- 2018年 4月 大阪医科大学 研究支援センター トランスレーショナルリサーチ部門 副部門長 兼任
- 2019年 7月 大阪医科大学 講師(泌尿器科学教室)
- 2025年 2月 川崎医科大学 泌尿器科学 主任教授

表彰報告

下記の先生の表彰のご連絡がございました。
慶事でありますので、ご報告させていただきます。

厚生労働省労働基準局長表彰 河野公一先生（学部21期） 稲田泰之先生（学部41期）

表彰のお言葉

この度永年にわたり大阪労働局の労災医員として厚生労働行政の推進に貢献したことに對して厚生労働省労働基準局長より表彰状を贈呈されました。これはひとえに仁泉会の諸先生方のご助力ご助言のたまものと感謝申し上げます。
また同授与式で本学41期の稲田泰之先生も同じく表彰されましたことを報告いたします。

河野公一（学21期）



受賞報告

下記の先生の受賞のご連絡がございました。
慶事でありますので、ご報告させていただきます。

第53回 医療功労賞受賞 弓場通正先生（学部26期）

大阪医科大学 創立100周年 記念事業

数十年先の未来医療へ

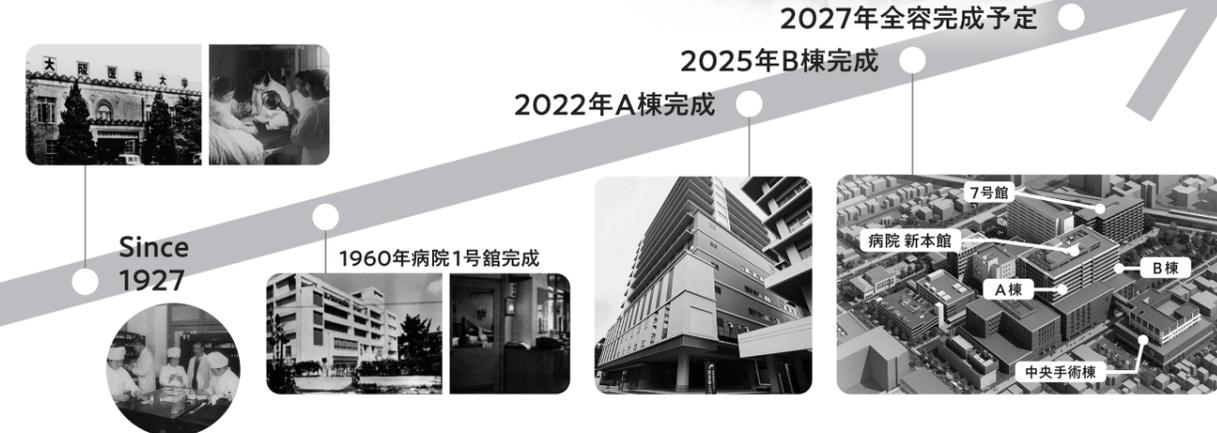
大阪医科薬科大学病院 新本館建築プロジェクト

Super Smart Hospital スマート医療を推進する大学病院

「バイオフィリア」という概念を取り入れ、
自然と触れ合うことで健康や幸せを得られる空間を実現。

AIやロボットなど先端技術を活用し、
効率的で「安全・安心な高度医療」を提供。

最先端の医療技術や高度な多職種連携の学びにより
次世代を担う「優れた医療人を育成」。



募集要項

募金目的▶ 大学病院新本館建築に係る資金、学生支援体制の充実
募金目標▶ 10億円
募集期間▶ ~2027年3月
募金単位▶ 個人：1口1万円、法人：1口10万円
顕彰▶ 個人、法人ともに5口以上ご寄付いただいた方は、
銘板にご芳名をしるし、未永く顕彰いたします

特典▶ 個人：10口以上、法人：5口以上ご寄付をいただきました方は、健康科学クリニックの人間ドック（基本コース）1回分の無料受診券を進呈します。
申込方法▶ 学校法人大阪医科薬科大学寄付WEBサイトよりお申し込みいただくか、
募金推進本部迄ご連絡ください。



大阪医科薬科大学基金

大阪医科薬科大学基金は、皆様からいただいた募金を積み立てて資金運用することによりさらに増やしていくもので、基金の拡充は、長期間にわたる「教育・研究活動」「良質な医療の提供」の強化に繋がります。

募集要項

募金単位▶ 個人：1口1万円 法人：1口10万円
申込方法▶ 学校法人大阪医科薬科大学寄付WEBサイトよりお申し込みいただくか、募金推進本部迄ご連絡ください。
【お問い合わせ先】募金推進本部 072-684-7243

【税制上の優遇措置】学校法人大阪医科薬科大学は特定公益増進法人です。大阪医科薬科大学に対するご寄付は所得税・法人税・相続税の税制上の優遇措置を受けることができます。また一部の自治体では、個人住民税の税額控除の対象となります。

学校法人大阪医科薬科大学 募金推進本部 〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7
OMPU Tel: 072-684-7243 Mail: kikin@ompu.ac.jp Web: <https://www.ompu.ac.jp/donation/index.html>

至誠仁術を備える人材の育成をめざして
ご支援のお願い

祝・卒業

令和6年度 卒業証書・学位記授与式

今年の卒業式・学位記授与式は令和7年3月6日（木）に高槻城公園芸術文化劇場トリシマホールにて行われ、学部74期生95名がご卒業されました。

本年の仁泉会理事長賞は藤本海斗さんが受賞され、安藤理事長より賞状と褒賞が授与されました。

佐野浩一学長の当日の式辞を掲載させていただきます。

令和6年度 卒業式 式辞 大阪医科薬科大学学長 佐野浩一

花細し今

大阪医科薬科大学 医学部95名、薬学部265名、看護学部89名、令和6年度卒業生の皆さん、本日無事に学位記授与式を迎えられおめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましてはご子息ご息女をここまで立派に育て、本日の卒業式を迎えられ、さぞお喜びのことと存じます。ご同慶の至りでございます。

本学の教員・職員の皆さんには厳優織り交ぜて学生の皆さんに接して下さったことに感謝と慰労を申し上げます。

本学は、令和3年（2021年）4月に大阪医科大学と大阪薬科大学が統合され、建学の精神「国際的視野に立った良質の教育、研究および医療の実践を通して至誠仁術を体現する医療人を育成する」を唱え、「至誠仁術」を学是に大阪医科薬科大学となりました。看護学部の皆さんは大阪医科薬科大学に入学し、大阪医科薬科大学を卒業されます。6年制の医学部と薬学部の皆さんは、それぞれ大阪医科大学、大阪薬科大学に入学し、大学統合という貴重な経験を経て大阪医科薬科大学を卒業されます。医学部・薬学部・看護学部それぞれの沿革は異なりますが、一連の流れの上であり、いずれの学部の卒業生も等しく大阪医科薬科大学の卒業生であり、各方面で活躍しているすべての同窓生は皆さんの先輩であり、私たちの誇り



であります。本日、皆さんはその仲間入りをされます。

会式前に流れておりました学歌は、医科大学と薬科大学の統合を記すもので、天皇家の和歌の選者である高名な細胞生物学者永田和宏先生の作詞、NHKドラマ「風林火山」の主題曲など多方面の作曲を手掛けられている千住 明先生の作曲です。卒業されてからも時折皆さんの脳裏にこの学歌が流れるならうれしいことだと思います。

さて、看護学部の卒業生のみなさんが入学した令和3年（2021年）には令和3年度と令和2年度の入学式がそれぞれ春と秋に挙行されました。前年、令和2年（2020年）の統合前の大阪医科大学と大阪薬科大学の最後の入学式は、新型コロナウイルス感染症の流行によって、やむを得ず開催を見送ったためでした。平時にはあり得ない特別なことでした。

WHOが緊急事態宣言を終了するまで皆さんの学生生活の大半は新型コロナウイルスの猖獗する中にありました。医学・医療の現場では、5～10年は掛かるであろうと思われていたmRNA ワクチンが比類の速さで実用化され、カ



タリンとワイスマンがmRNA ワクチンの発明を評価され、ノーベル生理学医学賞を受賞しました。また、コロナ禍においては世界中のWeb環境がフルに利用され、特に遅れていた日本のWeb環境の整備や利用が未曾有の速さで進み、一気にSociety5.0に移行するという経験もされました。

これらの出来事を振り返りますと、今までの生活の中で常識としていたことが通じなくなることがあることに気がきます。別の見方をしますと、新しい常識が突然生まれることがあるということ、また、社会の在り方は時に応じて変化することを改めて知ります。

植木理事長先生から「読んでみ」とだけ言葉を添えて、2023年6月10日付の朝日新聞連載小説沢木耕太郎作「暦のしづく」のコピーをいただきました。江戸中期の宝暦年間、獄門に処せられた講釈師・馬場文耕を主人公にした小説の一話です。備前国出自の文耕は阿波国で剣術を修業したのちに、視力を失えば剣術は何の役にも立たないことを悟り、剣を捨てて江戸に出て講釈師になったようです。文耕は太平記などを独自の解釈を付けて講釈すると同時に実話を講談で語っておりました。その実話の一つが原因して公儀を畏れぬ所業の罪に問われたという話です。理事長先生からいただいた一話の中に、文耕が里見という名の若い浪人と交わす論語に関する議論がありました。里見は儒学の八徳「仁儀礼智信忠孝悌」には欠けているものがある。それは慈しみであらゆる者から慈が湧き出れば世はこよなく大平になりましょう」と説きます。文耕は里見という浪人の用いる言葉に微妙に分かりにくい意味が込められていると感じたと記しています。

「慈しみ」というのは、「人を思い遣る」という意味でしょうが、「情をかける」という上から下へのニュアンスが強いのではないかと考えながら何度も読み返しました。この「慈しみ」に似た言葉に「恕」という言葉があります。諸説ありますが、「恕」というのは「相手を思いやる」「相手を受け入れる」というニュアンスがあり、そこに上下の分け隔てはありません。論語の中で、仁を求める孔子が「自分の道は一つし

かない」と述べたのに対し、曾子は孔子の道は「恕」であると指摘しています。また、弟子の子貢が「終生行うべきものは何か?」と問いかけたのに対し、孔子自身が「それは恕だ」と言い切ったといひます。学是にある「仁」を求めるには常に「恕」を心掛けること、もし「恕」という人を受け入れる力

が身につく、自然に「恕」を発して人を思い遣ることができればそれが「仁」の境地ではないかと考えます。

話が少し逸れますが、現在、本部キャンパスの北東に建築している第1研究館の東側にお茶の水の湯島聖堂からもらいうけたと伝わる楷樹が植えられています。楷樹は世界遺産 中国山東省孔林にある孔子の墓所に弟子の子貢が植樹したもので学問の聖木とされていますので機会があれば触れてみて下さい。

さて、冒頭で述べたように社会の在り方は、時々に応じて変化します。出生数が想定を超えて減少している今、その変化は今まで以上に速くまた激しくなりますが、その変化への対応において人を思い遣り、人を受け入れることすなわち「恕」を心掛けることが古来変わらず大切なのだと思います。常に、遍く人を思い遣り、人を受け入れることは決して容易なことではありませんが、皆さんにはこれからの社会生活で「恕」を心掛け、できる限り人を思い遣り、人を受け入れながら、明るい未来を創造して下さるよう希望します。皆さんにはそれができると信じております。

今日ここに本学を卒業する皆さんに「恕」という言葉を送り、皆さんの社会での輝かしいご活躍とご参会の皆様のご多幸を祈って式辞といたします。

令和七年参月六日



支部だより

大阪医科薬科大学 仁泉会大阪府連合会主催の 第1回産業医講習会の報告

文責／福本敏子（学 24 期）

令和7年2月8日（土）に当会主催の第1回産業医講習会を大阪府医師協同組合8F ホールにて開催しましたので、報告いたします。

当会では会員対象の学術講演会などを開催していましたが、何か他に会員に貢献できる催しができないものかと模索していました。そこで、産業医資格をお持ちの先生方が資格更新のために、講習会の予約をしても、なかなか予約が取りにくい現状があることから、産業医講習会を当会主催で開催していくことになりました。昨年からは順次用意をし、今回、沢山の先生方に受講いただき無事に終了することができました。

FAXでの申し込みは58人、WEB申し込みは99人と多くの先生方にお申込みいただきました。

講演の第1席は大阪医科薬科大学名誉教授の河野公一先生が「化学熱傷は恐ろしいー職域における労働衛生管理の大切さ」について詳細にご講演くださいました。化学外傷の重篤な症例の数々に皆様、かたずを飲んで見入っておられました。第2席は大阪医科薬科大学眼科学教室講師の大須賀 翔先生が「中高年労働者のアイフレイルと視覚障害」についてご講演くださいました。アイフレイルという最近のトピックスについて多くの写真を提示され、視覚環境を守る大切さを説かれました。

講演終了後は、仁泉会会員同士が旧交を温める光景があちこちで見受けられました。

厳しい寒さの1日でしたが、多くの先生方に参加していただき、お世話する者として充実した日となりました。

今回は8月2日（土）に開催を予定しています。ご希望の先生方はお早目の予約登録をお願いいたします。

今後とも、仁泉会大阪府支部連合会の会務にご協力ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

第2回仁泉会大阪府支部連合会 産業医講習会のご案内

- 開催日時：令和7年8月2日（土）午後3時から午後5時まで
- 会場：大阪府医師協同組合8階 大ホール 〒542-8580大阪府中央区上本町西3丁目1番5号
- 受講料：仁泉会会員 3,000円
- 参加資格：日本医師会認定産業医
- 受講予定数：160名
- 内容：

プログラム①(演題・講師) 午後3時～午後4時
 演題：「勤労者の手関節周囲の障害とその治療」
 講師：近畿大学医学部整形外科学教室 教授 大谷和裕先生

プログラム②(演題・講師) 午後4時～午後5時
 演題：「知っておきたい職場のメンタルヘルス」
 講師：新阿武山病院 副診療部長 森本一成先生

● 単位数：2単位 生涯研修(専門)2単位

● 申込み等

事前受付：5月20日より受付を開始いたします。

「仁泉会大阪府支部連合会 産業医講習会（8月2日）受講希望」と明記し、氏名（ふりがな）、認定産業医番号、所属（医療）機関名、受講票送付先住所、電話番号、FAX番号、e-mailアドレスを記入の上、仁泉会事務局までFAX（072-682-6636）又は仁泉会ホームページ内のweb申込フォームより受付。受講料は事前振込になります。

問合せ先：仁泉会事務局 tel：072-682-6166 e-mail：info@jinsenkai.net

仁泉会ホームページ



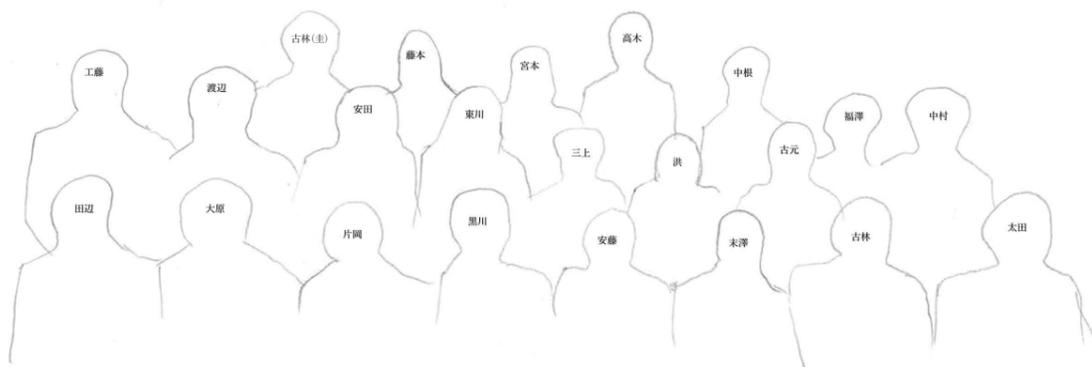
支部だより

北区支部総会開催報告

文責／北区支部長 太田祥彦（学 38 期）

もう春だというのに肌寒い日が続くなか、北区支部総会を3/29（土）18：00から大阪東急reiホテル2階宴会場で行いました。古林圭一先生（学49期）の司会の元、支部長の挨拶に続き、前支部長末澤慶昭先生（学19期）の乾杯のご発声で会は始まりました。大阪市北区には加納総合病院、北野病院、済生会中津病院、大阪中央

病院に加え新しくできた医誠会国際病院など、大阪医大と関連のある病院が多くあり、今回はそれぞれの病院から新しい先生方が数多く初参加いただき、フレッシュな顔ぶれであったと思います。司会の指名のもと初参加の先生を中心に近況を報告してもらいました。少し道に迷われ遅れて登場の安藤嗣彦理事長（学20期）の開学100周年事業についての夢を感じるご報告もいただきました。医誠会国際病院の精神科工藤 喬先生（学35期）からは病院の紹介だけでなく最近の著書も贈呈いただきました。予定していた2時間もあっという間に過ぎ去ってしまい、安藤理事長と同級生の黒川先生の締めのお言葉のあと記念写真を撮って散会となりました。年に一度に限らず、複数回集合してもいいのではないかと意見もあり、今後の検討としたいと考えております。



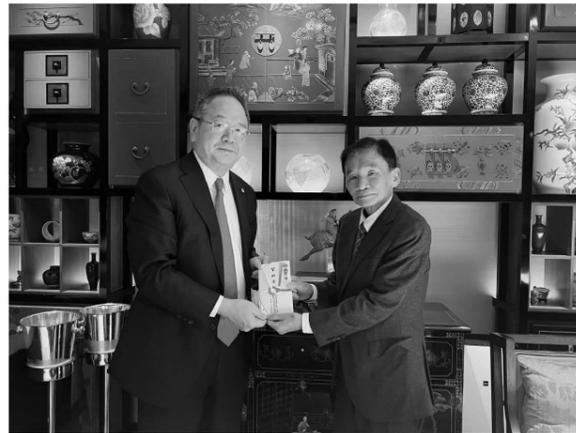
支部だより ●●

東住吉・平野支部 令和6年度 支部総会及び懇親会開催報告

文責／支部長 長谷川利雄（学32期）

当支部は元々東住吉支部でしたが、昭和49年に東住吉区から平野区が分区し、医師会も東住吉と平野に分かれたことに伴い、東住吉・平野支部となりました。

いずれにしても仁泉会の大阪市最南端の支部として地理的な重要性は変わりません。支部長の交代に伴い、昨年、26年ぶりに支部総会を開催しました。参加者は敬称略で(数字は期)、田口忠宏(28)、長谷川利雄(32)、寺山幸嗣(34)、岡村展明(45)、成田敬介(44)、天野大(50)、忌部歩(59)の7名に加え、安藤嗣彦仁泉会理事長にご臨席いただきました。会の初めに、



写真説明（敬称略）

前列左より：長谷川、安藤、田口、忌部 / 後列左より：成田、天野、寺山、岡村

安藤理事長から本学の順調な発展ぶりについてお話しいただきました。総会では、新入会員の報告、会計報告、名簿の確認、会員の入会状況について報告がありました。長谷川より中央の医療情勢について、診療報酬改定の厳しさ、ベースアップ評価料、全国病院の厳しい経営状況等の説明がありました。開催場所はリッツ・カールトン大阪の香桃であり、今回は、家内の友人であるソムリエさんにチョイスしていただき、中国料理にシャンパンやワインのペアリングを試みました。中国料理とワインのマリアージュは絶妙でした。

この会は専門も違い、卒業年度など属性の異なるメンバーですが、平素の診療で困ることや医療DX、継承問題など話題は尽きず、前回に続き有意義な会でした。

最後に理事長を囲んで記念撮影をして散会しました。この会は、現在はまだ小規模であるが、仁泉会にとっても会員にとっても有益な会であり、引き続き継続したいと考えています。当分の間は東住吉・平野区内の医療機関に勤務している本学出身者であれば参加可能ですので、下記までご連絡ください。次年度も2月の土曜日に開催予定です。

連絡先

長谷川整形外科医院 長谷川利雄
tel 06-6701-5815 fax 06-6700-3120
〒547-0011 大阪市平野区長吉出戸 5-2-13
E-mail : thsgw@pj8.so-net.ne.jp

支部だより ●●

仁泉会宝塚支部懇親会開催報告

文責／辰井光（学32期）

令和7年3月15日（土）に宝塚市内の「がんこ宝塚苑」に於いて久しぶりに懇親会を開催しましたので報告します。

今回は学24期の吉矢先生を筆頭に幅広い年代から14名の参加が得られました。開業科も多岐にわたり横の繋がりとして各科との連携も積極的に行っている環境が整いつつあります。当市は周知のごとく大学とは近いようで遠い距離ではありますが、このように仁泉会の繋がり脈々と若い世代へと受け継がれていることを改めて実感し心強く感じた次第です。

今回は残念ながらありませんでしたが、今後は大学の第一線にて活躍されている先生をお招きして新しい知見を吸収できるようにしていければと考えております。



出席者（敬称略）

- | | | | |
|------------|------------|-------------|------------|
| 吉矢健一（学24期） | 李 喬遠（学33期） | 加藤順子（学42期） | 斎藤明菜（学60期） |
| 草壁秀成（学29期） | 飯山 基（学34期） | 平岡やよい（学47期） | 大門篤史（学61期） |
| 辰井光（学32期） | 廣辻徳彦（学36期） | 有島武志（学49期） | |
| 藤本俊典（学32期） | 森信孝雄（学38期） | 谷仲謙一（学59期） | |

支部だより

第51回 仁泉会奈良県支部総会報告

文責／橋本恵介（学42期）

梅のつぼみもそろそろふくらみかけた去る令和7年2月15日（土曜日）、奈良市の春日ホテルにおいて仁泉会奈良県支部第51回総会が行われました。当日はまだまだ寒い中、30人もの先生方にお集まりいただき、充実した総会が開けうれしく思っております。（出席して頂いた先生がた、お忙しい中本当にありがとうございます。）

総会は、奈良県支部長 山下正人先生（学31期）のご挨拶から始まり、庶務報告、総会議事さらに学術講演会へと順次進行しました。

51回総会の、学術講演には、大阪医科薬科大学一般消化器外科教授 李 相雄先生（学44期）を御招待し「外科学の進歩と課題」というテーマでご講演頂きました。先生は、本学出身の一般消化器外科の教授であり、会員はみな李先生に親近感を抱きご講演に集中しておりました。（先生は、私たちの同世代でもあります。もう35

総会出席者（敬称略）

枅岡 進（学8期）	花本樹芳（学23期）	山下正人（学31期）	橋本恵介（学42期）	李 相雄（学44期）
杉原洋一（学12期）	奥田隆章（学24期）	辻口比登美（学33期）	森本 守（学42期）	石崎英介（学45期）
石崎雅子（学14期）	久保光彦（学24期）	松村典彦（学34期）	桐山邦徳（学43期）	河原邦彦（学45期）
北浦 泰（学15期）	古家 仁（学24期）	権 五規（学36期）	宮崎眞和（学43期）	古家美幸（学45期）
中尾重昭（学22期）	坂口嘉一（学29期）	松尾隆弘（学39期）	宮崎貞恵（学43期）	阿部洋介（学48期）
山田眞一（学22期）	山田全啓（学30期）	鎌田勝三郎（学41期）	福島 猛（学44期）	守屋豪志（学57期）



敬称略

- 三列目：守屋・阿部・花本・権・宮崎眞
河原・福島・石崎英・森本
- 二列目：辻口・石崎雅・松尾・久保・奥田
山田全・桐山・松村・古家
宮崎貞・橋本
- 一列目：杉原・枅岡・山下・李（教授）
山田眞・北浦・中尾・鎌田

年以上昔の事です、ラグビー部に所属されご活躍されていたことを記憶しております。私も、より親近感をもって聞き入っておりました）

ご講演は、「最近の外科医志願者は激減している」という言葉から始まりました。

大きな切開を伴う手術は生存率に寄与せず、むしろ合併症を増やすこととなるため、腹腔鏡下などの低侵襲手術（特に直腸がんや食道がん手術によい）の有効性が示されていることなど詳しくお聞きすることができました。また、昨今外科は若手医師に人気がなく、志願者数の減少の原因について外科学会をあげて分析もされ、その対策も検討中であることも聞かせていただきました。いっばしの外科医になるには、開腹手術、腹腔鏡下手術、ロボット手術の修得が必要で、いかに時間がかかり大変であるかも知られました。李教授も若手医師や学生を相手に積極的に外科医の魅力を伝え、志願者を増やしていくために、かなりの力を注いでおられるかということも分かりました。ご講演の最後には、会場から多数の質疑応答が続き、盛況の中51回総会も終了となりました。

その後、全体の写真撮影を済ませ、懇親会へと移りました。懇親会では各自の近況報告など行いながら、なごやかな時間が経過しました。最後に全員で大阪医科薬科大学学歌を斉唱して会はお開きとなりました。次回52回総会も、充実した会が開かれることを願います。

支部だより

学部35期 園村哲郎 和歌山医大放射線科教授退官に際して

文責／和歌山県支部長 湯川裕史（学29期）

仁泉会会員の皆様におかれましてはますますご清栄の事とお喜び申し上げます。

和歌山県支部より皆様にご報告申し上げます。

この度、和歌山県立医科大学放射線科の園村哲郎教授が、退官されることとなりました。

大阪医科大学ご出身の教授でしたから、仁泉会和歌山県支部としても大変誇りに思っておりました。この度退官とお聞きして大変残念な思いですが、園村教授のこれまでの業績を祝しまして、去る3月6日に役員皆で歡送会を開きました。

それぞれの学生の頃からの関りと思い出話、教授になられてからお世話になった事への謝辞など、話は尽きません。園村教授からは、先生のこれまでの膨大な業績と、まだまだ診療に携わっていかれる心意気と、和歌山県支部へのご尽力のお言葉を頂きました。



歡送会写真

教授退官に際しまして、和医大放射線科医局より、教授退官記念誌へ、和歌山県支部からの寄稿を依頼されまして、投稿いたしました。仁泉会の皆様にもご一読いただきたく、愚稿ながらご披露いたします。

園村哲郎教授、本当にご苦労様でした。今後ますますのご活躍を期待しております。

園村哲郎教授退官へ贈る言葉に代えて

大阪医科薬科大学医学部同門会仁泉会
和歌山県支部 湯川裕史

園村哲郎教授、ご退官お祝い申し上げます。大変ご苦労様でした。

私は、教授ご出身の大阪医科薬科大学医学部同門会であります仁泉会和歌山県支部のお世話をさせていただいております。卒業後に和歌山県でご勤務される方々に入会していただいておりますが、教授にもご卒業の昭和61年（1986年）に和歌山に来られてさっそくご案内しまして、和歌山県支部に入会いただきました。

和歌山に来られてからのご活躍は、皆さん良くご存じでしょうから、他の方からのご紹介に譲りたいと思いますが、ここでは仁泉会の関わりとしてご報告しますと、平成19年（2007年）の仁泉会和歌山県支部総会では、岸和田市民病院放射線科部長としてご講演頂きました。

テーマは「効率の良い癌のを見つけ方—PET/CT検査について—」でした。続いて平成20年（2008年）の総会では、講演会の座長を務めていただきました。

いろいろと仁泉会での大役を担っていただきました後、いよいよ平成27年（2015年）に和歌山医大放射線医学講座教授にご就任されました。その年の仁泉会総会の次第を紐解きますと、「園村教授就任のお祝い」の記事の抜粋と集合写真がありましたので、ご披露したいと思います。さらに平成28年（2016年）には教授ご就任記念講演をお願いいたしました。その際のプログラムと記事の抜粋もご披露いたします。その際のお話

では、画像診断、IVR、放射線治療など、医局の現状などを教えていただきました。

ご就任以来今日まで、一方ならぬご努力ご苦勞をされてきたと思います。仁泉会からは何らお手伝いもできませんでしたが、今後はお時間の許す限り、仁泉会へもご尽力を賜りたいとお願い申し上げます。

その始めとして、早速に本年度の総会R7.11.8（土）で教授退官記念講演をお願いいたしまして、快くご了承を頂きました。

園村教授におかれましては、退官されてもお益々のご活躍をお祈り申し上げます。

平成27年度仁泉会和歌山県支部総会の報告 平成27年11月14日（土）於ホテルアバローム紀の国 和歌山市

本年は慶事が続きまして、学35期の園村哲郎先生が和歌山医大放射線科教授に、学34期の穂積健之先生が和歌山医大循環器内科准教授にご就任されました。和歌山県支部にとりましては非常に喜ばしいことで、園村先生には、県支部より記念品をお贈りしました。（記 湯川裕史 学29期卒）

ご出席の先生方（敬称略）

中田勝次（学17期）／古田浩太郎（学14期）／田伏俊作（学20期）／米満賛（学21期）／西岡昭規（学23期）／橋本忠明（学25期）／向井龍太郎（学27期）／柳川泰彦（学28期）／湯川裕史（学29期）／柳川百世（学31期）／村上浩一（学32期）／松谷良清（学32期）／穂積健之（学34期）／園村哲郎（学35期）／吉田隆昭（学36期）／藤田定則（学38期）／木下博之（学41期）／丸山晋右（学41期）／塩崎憲（学42期）／家田淳司（学53期）／小林彩（学56期）／岡田圭次郎（学62期）／秋元寛（学32期）

平成28年度仁泉会和歌山県支部総会の報告 平成28年11月12日（土）於ホテルアバローム紀の国 和歌山市

本年の特別講演は、本年春に和歌山医大放射線学教授に就任されました園村哲郎先生（学35期）をお願いしまして、「和歌山県立医科大学の放射線診療」のテーマでお話を伺いました。画像診断、IVR（Interventional Radiology）、放射線治療の現状を詳しく講義頂きましたが、すべての診療科の診断と治療に関わっている事がわかりまして、その診療の膨大さに感心しきりでした。和歌山医大でのオリジナルとして、ヒアルロン酸ゲル注入による危険臓器の移動、アジアロシンチを用いた機能肝の温存についての手技を教えてください、今後ますますの園村教授のご発展、ご活躍が間違いのないものと思われました。（文責 湯川裕史）

本日ご出席予定の先生（敬称略）

中田勝次（学17期）／古田浩太郎（学14期）／田伏俊作（学20期）／米満賛（学21期）／橋本忠明（学25期）／向井龍太郎（学27期）／柳川泰彦（学28期）／湯川裕史（学29期）／柳川百世（学31期）／村上浩一（学32期）／穂積健之（学34期）／園村哲郎（学35期）／吉田隆昭（学36期）／木下博之（学41期）／丸山晋右（学41期）／塩崎憲（学42期）／坊岡進一（学43期）／藤田洋一（学52期）／家田淳司（学53期）／橋本忠幸（学59期）／仲河恒志（学62期）／榎木祐弥（学64期）



教授就任時の同門会記念写真

Table with meeting agenda for the 28th general meeting, including topics like financial reports, special lectures by Kenji Enomura, and a banquet.

教授就任後の記念講演の記事

支部だより

大阪医科薬科大学仁泉会 岡山支部総会報告書

文責／小出尚志（学28期）

令和7年3月2日、岡山支部総会をANAクラウンプラザホテル岡山のレストラン厨海（くりやせん）にて開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、実に7年ぶりの開催となりました。

当日は、支部会員12名に加えて、来賓として仁泉会本部より理事長の安藤嗣彦理事長のご臨席を賜り、正午より開会となりました。支部総会は支部長の開会の宣言に始まり、安藤理事長のご挨拶を頂いた後、食事をしながら各会員が自己紹介とともに近況を報告し、久しぶりの再会を喜び合いました。終始和やかな雰囲気の中で会話が弾み、予定した3時間があっという間に過ぎました。

また、本総会では54期の小村正和先生の川崎医科大学・泌尿器科学の新任教授就任を祝う場ともなる予定でしたが、ご多忙のためやむなくご欠席となりましたので、日を改めて小村先生の教授就任祝賀会を別途開催することで参加者全員の賛意をいただきました。

さらに、今後の支部活動の継続と活性化を図るため、岡山支部総会を毎年3月の第1日曜日に開催することを申し合わせ、集合写真撮影の後、次回の再会を約して散会となりました。

終わりになりますが、支部総会の開催に際して本部より賛助金を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。



賛助金贈呈式



前列左より：渡辺英臣先生（31期）、小出尚志先生（28期）、安藤嗣彦理事長、木村隆信先生（27期）、駒越春樹先生（26期） 後列左より：赤松順先生（33期）、名木田章先生（28期）、田淵雅子先生（47期）、石岡達司先生（28期）、梅垣英次先生（35期）、龍治修先生（33期）、藤井研介先生（59期）、藤川えつこ先生（41期）

支部だより

令和7年 大阪医科薬科大学仁泉会 高知県支部総会・新年会

日時：令和7年2月1日

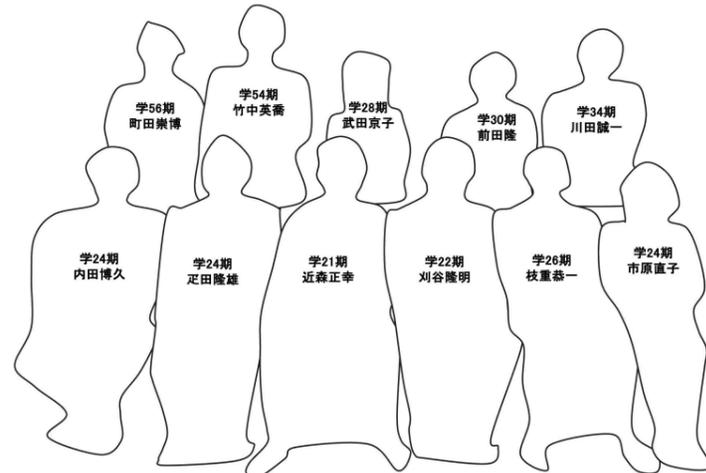
場所：希満里

文責／市原直子（学24期）

今年の会はしめやかな雰囲気が始まりました。高知県支部の支部長を長年務められた濱脇弘暉先生が昨年11月13日に亡くられました。先生は仁泉会高知県支部のみならず、高知県医師会、産婦人科医会の重鎮であり、多くの人に愛されたお人柄でした。真面目に仕事に取り組む一方でお酒を愛し、議論を愛した人生でした。そして高知県の産科医の減少を憂いながら一人逝ってしまわれました。先生、ゆっくり休んで下さい。

一同、黙祷。その後、恒例の会計報告、そしてうれしい報告がありました。昨年春に刈谷隆明先生（学22）が旭日双光章、秋に近森正幸先生（学21）が瑞宝小綬章の叙勲をされました。授章の喜びもさることながら、お二人の先生にとって天皇陛下に謁見できたことは埒外の感激だったようです。宮中の緞通の厚さに感動したとか、最前列にうまく並べば陛下からお言葉をかけて頂ける可能性があったのに後ろのほうで残念だったとか凡人が喜びそうな話をしてくださいました。ただ、陛下の品性は別格だという一言には一同納得致しました。そして新たに支部長に枝重恭一先生（学26）、幹事に川田誠一先生（学34）町田崇博先生（学56）が選任・承認され新執行部の船出の年となりました。新年会を祝い、いつの間にか最長老となられた近森先生の乾杯の音頭でいつも通りの品性のかけらもない？宴会に突入です。それでも以前に比べると随分、品が良くなりました。テーブル席（老人が多く座れない）で和懐石とくれば徳利をもって動き回れません。お隣さんと丁度インフルエンザが流行っていた時期

だったのでモグモグ、ヒソヒソです。たまに前田 隆先生（学30）のだみ声が聞こえてきます。東京で活躍の武田京子先生（学28）も久々に出席、いずれは高知に帰ってきたいとうれしい報告でした。学24期3人（疋田隆雄先生、内田博久先生、市原直子）は全員出席、元気でまだまだ現役で診療をしています。老化現象甚だしい高知県支部ですが、それでも学部50年代が3人入会、今年の新年会に竹中英喬先生（学54）町田崇博先生（学56）の二人の先生が出席、大いに場を盛り上げ、若手のホープとして期待大です。宴もたけなわ写真撮影の段になり、ある先生が「そう言えば十年前最前列に座っていた先生方はもういない。ということは十年後は？」なんて言い出し、前に座ろうとしていた先生方の「大丈夫、大丈夫」という微妙な笑いを誘っていました。確かに七十代後半の先生方にとって十年後の約束はできないかもしれない。そんなこんなでワイワイガヤガヤ、話は尽きないものの九時でお開き。「来年までは健康でいよう。そして必ず会いましょう」と誓い中締めとなりました。



支部長交代のお知らせ

＜大阪市西区＞

前支部長 浅野彰彦 先生（学 32 期）
↓
新支部長 岡部太一 先生（学 43 期）
※6月より

＜守口支部＞

前支部長 水野智志 先生（学 34 期）
↓
新支部長 吉良貞政 先生（学 37 期）

＜天王寺支部＞

前支部長 辻 卓司 先生（学 31 期）
↓
新支部長 上田信行 先生（学 31 期）

＜泉大津支部＞

前支部長 中 透 先生（学 25 期）
↓
新支部長 酒井亮一 先生（学 36 期）



大阪医科薬科大学 昭和57年卒業(学31期)同窓会開催の お知らせ(第1報)

日時：2025年11月9日（日）時間未定（12時頃）

場所：ホテルアベスタグランデ高槻

高槻市芥川町1-14-1

TEL 072-686-0001

学31期の皆さん、いかがお過ごしでしょうか？
久しぶりに高槻の景色をみて語り合いませんか。
詳細は仁泉会ニュース次号でご案内いたします。
お問い合わせは仁泉会事務局 天野様まで

仁泉会事務局
電話：072-682-6166
FAX：072-682-6636
E-mail: jimujinsenkai.net

仁泉ひろば

jinsen-park

電線に10羽の鳥が…

文責／大隈義彦（学9期）

和訳せよ
 Row, row, row your boat,
 Gently down the stream.
 Merrily, merrily, merrily, merrily,
 Life is but a dream.

これは昭和31年本学専門学部の入試問題の一部です。

当時の学制では、医学部の入試は2年間の理系大学教養課程に於いて、所定の単位を取得した者に受験資格を与えると云うものでした。

いくら何でも、中学校の教科書に出て来る様な文を、かりそめにも、学部の入試に出題されるとは。これは単なる和訳を求めているのではなくて、隠し玉として詩文の型式を求めているのは明白でしょう。子供の頃にナゾナゾがありました。「電線に10羽の鳥が止まっておりました。鉄砲で1羽を撃ち落としました。さて電線に何羽残っているでしょうか」答えは「0羽です。9羽は鉄砲の音でみんな逃げて行きました」。

韻を踏んで詩の型式をとらねばならず、さりとして意識に走り過ぎて試験官に鼻白ろませてはならず、解答に苦労したのは覚えております。

現に入学したのだからある程度試験官のお眼鏡にかなったのでしょうか、今だに正解はどうなんだろうと悩みがつきません。

さて、入学して間もなく「医学概論」の講座が始まりました。担当はご高齢の医史学のオーソリティ・大矢全節講師（後に教授）でした。

京都府立西京大学時代、医進課程の私達は心理学の広田君美助教授からことのほか、眼をかけられ「医者馬鹿になるな」「専門外の自然・人文科学の本も読め、そして考えろ」と常々やかましく教えられて来ましたので、医学概論に大きな期待を持って臨みました。しかし講義は学問とは程遠い牧歌的なものでした。

先生は毎回黒板一杯にドイツ語の文章を書かれ、それを学生に順次訳させられました。

正確ではありませんが、最初の講義のドイツ語は「火は燃える 火は燃える 燃えさかる大火の炎でさえも消せる 火は消せる されど 心の内に燃えさかる火は消そうにも消せない」と云うものでした。

皆 軽々と訳したのですが、先生はご不満でした。最後はご自分達の旧制高校時代の即興の解答を出されましたが「咸陽の都を焼きつくす炎でさえも」と原文にはない挿入文の入った見事な漢詩でした。先生はこの詩を材料として passion に就いて講義をなさりたかったのでしょうか、私にとって誠に期待はずれの授業でありました。しかし旧制高校学生の漢文の素養の高さには驚愕したものでした。

今日迄、Row, row, row your boat, の解答に自信がないのはこれも一因になっておるのでしょうか。

つい最近、老いの手慰みに解を求めてみました。大矢先生のように見事な漢詩にはとうてい及びませんので、模倣して、和漢ハイブリッドの腰折れを作ってみました。

願わくば、諸兄姉の御笑覧を。

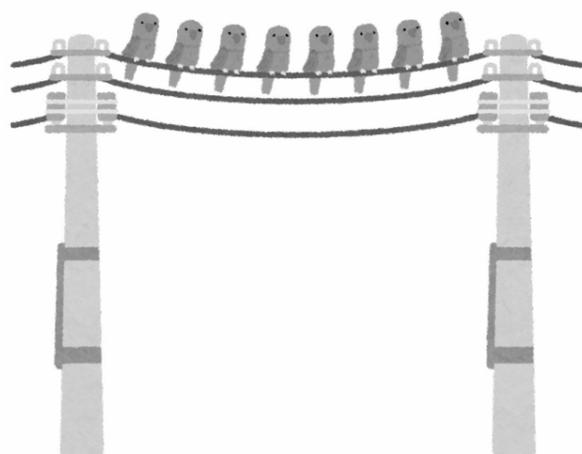
漕ゲヤ 漕ゲ 漕ゲヤ 汝ヶ舟 静ズヤカニ (5・7・5)

流レニ 乗リテ 漕ギクダレ (7・5)

ゲニモ 欣快 楽シミテ (7・5)

ヤヨ 楽シミテ クダリユケ (7・5)

所詮 人ノ代 唯 邯鄲ノ夢 ナレバ (7・7・5)



仁泉ひろば

jinsen-park

令和6年度 大阪医科薬科大学医学部 バスケットボール部 OB・OG 会 総会開催の報告

文責／宮崎信一郎（学52期）

去る令和7年（2025年）2月22日（土）に、令和6年度大阪医科薬科大学医学部バスケットボール部OB・OG会総会が午後7時からホテルグランヴィア大阪で開催されました。OB・OG会員25名に加え、現役生3名（3年生：杉本祥多、井上朋哉、若林百恵）が出席し、活気ある会となりました。以下、その概要を報告いたします。

岡田茂樹会長（学24期）のご挨拶により、総会が開会されました。北野直先生（学45期）の司会のもと、庶務関連の報告が行われ、令和5年度までの会計報告がなされました。続いて、今年度ご逝去された安田英煥先生（学33期）へ黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りしました。

現役生の活動報告

男子部キャプテン 杉本君、女子部キャプテン 若林さんから活動報告が行われました。戦績の内容はまだまだ

参加者（敬称略）

佐浦隆一（顧問）	室谷益代（学33期）	瀧川直秀（学42期）	菅敬治（学45期）	杉本祥多（学生3回生）
（リハビリテーション学教授）	東川雅彦（学34期）	村木早苗（学42期）	（平成8年金沢医科大学卒）	井上朋哉（学生3回生）
岡田茂樹（学24期）	安田稔人（学37期）	劉長勳（学44期）	藤田今日子（学47期）	若林百恵（学生3回生）
松井昭彦（学28期）	安田恵美（学37期）	山口和男（学44期）	三木義仁（学50期）	
中田英二（学28期）	瀧谷公隆（学38期）	長尾光史（学44期）	宮崎信一郎（学52期）	
本田学（学29期）	太田博文（学38期）	森田恭子（学44期）	伊丹康夫（学56期）	
御前治（学33期）	田邊和子（学40期）	北野直（学45期）	柏木秀基（学65期）	



望んでいるものではないものの、OB・OGの先生方の応援が励みになっていること、これからご指導・ご支援をお願いしたいとのメッセージがありました。

久野友子奨学基金 開設のお知らせ

2021年5月に出勤途中の事故によりご逝去された 故久野友子先生（学41期）のご遺族より寄せられた寄付金により設立され、医師を志す医学生を支援することを目的とした奨学基金です。久野先生の遺志を継ぎ、後進の医学生たちの成長を願う基金として、今後も大切に運営されることが報告されました。

懇親会

例年通りに盛り上がり、学生時代に戻れるような錯覚に陥る楽しいひと時を過ごすことができました。松井昭彦先生（学28期）による中締め挨拶で、総会は盛会のうちに終了しました。しかし、そのまま終わるはずもなく、有志が集まり北新地へと二次会へ移動。会話も尽きることなく、深夜まで語り合い、親睦をさらに深める時間となりました。

次の開催は令和8年（2026年）2月28日（土）にホテルグランヴィア大阪で予定しております。より多くのOB・OGの皆様にご参加いただき、バスケットボール部のさらなる発展を支えていただければ幸いです。

冊子切抜

2024年8月発刊の雑誌プレイボーイに土井秀明先生(学36期)の記事が掲載されましたのでご紹介させていただきます。

ワキガの科学

日本の研究チームが原因菌の特定に成功！なぜにおう？どう防ぐ？

ニオイが気になる今こそ知りたい

ワキガの原因となる菌を特定！
今年4月、大阪公立大学の研究チームによる成果が世間を騒がせた。

脳の下から独特のおいが放たれるワキガは「腋臭症」とも呼ばれ、日本人の10人に1人が悩まされているといわれ、中にはワキガ軽減のための手術をする人もいますが、そもそもワキガはどのようにして発生するのか。研究チーム

あれ、俺って今臭い？
汗が増えるこの季節、自分のニオイがどうしても気になる！
その中でも特に考えたいのが、脳のニオイ。
実は最近、日本人研究者がワキガのメカニズムを解明し、原因菌のみを除去する手法を開発したというのだ。研究チームを直撃した！

取材文/佐藤 寛
写真/STOCK PICTURE
イラスト/高橋 洋

ワキガの原因となる菌を特定！今年4月、大阪公立大学の研究チームによる成果が世間を騒がせた。

脳の下から独特のおいが放たれるワキガは「腋臭症」とも呼ばれ、日本人の10人に1人が悩まされているといわれ、中にはワキガ軽減のための手術をする人もいますが、そもそもワキガはどのようにして発生するのか。研究チーム

ワキガの原因となる菌を特定！今年4月、大阪公立大学の研究チームによる成果が世間を騒がせた。

脳の下から独特のおいが放たれるワキガは「腋臭症」とも呼ばれ、日本人の10人に1人が悩まされているといわれ、中にはワキガ軽減のための手術をする人もいますが、そもそもワキガはどのようにして発生するのか。研究チーム

ワキガの原因となる菌を特定！今年4月、大阪公立大学の研究チームによる成果が世間を騒がせた。

脳の下から独特のおいが放たれるワキガは「腋臭症」とも呼ばれ、日本人の10人に1人が悩まされているといわれ、中にはワキガ軽減のための手術をする人もいますが、そもそもワキガはどのようにして発生するのか。研究チーム

ワキガの原因となる菌を特定！今年4月、大阪公立大学の研究チームによる成果が世間を騒がせた。

脳の下から独特のおいが放たれるワキガは「腋臭症」とも呼ばれ、日本人の10人に1人が悩まされているといわれ、中にはワキガ軽減のための手術をする人もいますが、そもそもワキガはどのようにして発生するのか。研究チーム

ワキガの原因となる菌を特定！今年4月、大阪公立大学の研究チームによる成果が世間を騒がせた。

脳の下から独特のおいが放たれるワキガは「腋臭症」とも呼ばれ、日本人の10人に1人が悩まされているといわれ、中にはワキガ軽減のための手術をする人もいますが、そもそもワキガはどのようにして発生するのか。研究チーム

新聞切抜

3月29日付毎日新聞朝刊に萩森伸一先生(学38期)の記事が掲載されましたのでご紹介させていただきます。

突発性・騒音性難聴とめまい

定期的な検査が必要

「昨夜テレビでプロ野球を見ていたら左耳がキーンと鳴って聞こえなくなりました。ぐるぐる回るめまいも少しあり、吐き気もする。こんなことは初めてです」

これは、突発性難聴の患者さんの典型的な訴えです。内耳の障害が急速に進行する騒音性難聴で、原因は特定されていません。睡眠不足やストレスの高い状態が続くと発症する場合があります。安静が第一でステロイドなどの治療薬もありますが、完治もしくは改善が見られるのはそれぞれ3分の1程度で、残りの3分の1は改善しません。発症後2週間以上たつと回復しづらくなる耳の救急疾患です。急に聞こえなくなったらずに耳鼻咽喉科を受診してください。

騒音性難聴も注意が必要です。長期間大きな音を聞き続けると、音のエネルギーで蝸牛の細胞が損傷します。電車や自転車に乗る若者がイヤホンで音楽を大音量で聴いているのを見かけますが、少しくず難聴が進むので気付くのが遅れ、聞こえづらさを自覚した時には既に難聴が進行しています。そして元には戻りません。1時間に1度は音楽を切るなど耳を休め、定期的に聴力検査を受けましょう。

めまいは片耳の難聴を伴うメニエル病をはじめ、同じ姿勢で横になっていると起こる頭位めまいなどがあります。頭位めまいは三半規管に迷い込んだ耳石というカルシウムの粒が頭を動かすたびに重力で移動し、三半規管の感覚細胞を刺激するのが原因です。ぐるぐる回ってテレビを見たり、うつむいて編み物をしたりするなど長時間同じ姿勢をとり続ける習慣がある人は、頭を前後左右にゆっくり動かす体操を生活の中に取り入れましょう。

頭位めまいのメカニズム(萩森教授作成)

毎日新聞 2025年(令和7年)3月29日(土) D朝刊版 企画特集 14

大阪朝刊 2025年3月29日(土)

メディア掲載・書籍発行の際は編集部にお知らせください

テレビ、ラジオ、新聞などのメディアにご掲載になられた会員諸先生方がおられましたら掲載された原本を同封のうえ、事務局までお送りください。(自薦・他薦は問いません)

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
e-mail / jimu@jinsenkai.net

まんが 第73回

コーンポスタージュース (学31期)

10月以降のレストラン



新札



本部だより 会員訃報

次の会員が亡くられました。
慎んでご冥福をお祈り致します。

事務局編集係

高医13期 小野喜弘先生

平成29年4月4日老衰の為逝去 (97歳)。

昭和18年卒。

卒業後、昭和30年に東京武蔵野市でおのいいんをご開業されました。多年に渡り地域医療に尽力されました。

ご遺族 長男 幹夫様

高医17期 麓 逸郎先生

令和5年7月21日老衰の為逝去 (98歳)。

昭和23年卒。

卒業後、昭和35年に大阪市平野区にて内科をご開業され、平成27年まで診療に従事されました。令和3年に医院を閉院された後は穏やかにお過ごしになっておられました。

ご遺族 妻 泰子様

学部6期 塘 二郎先生

令和6年11月26日肺炎にて逝去 (92歳)。

昭和32年卒。

卒業後、京都大学医学部にて副手を務められ、昭和38年に母校にて助手としてご勤務。

昭和42年には母校内科学講師をお務めになっておられました。昭和56年に母校附属病院をご退職され、同年、天王寺区にてツツミ内科循環器科をご開業になられました。

地域医療に尽力される傍ら、仁泉会理事や大阪府支部連合会理事、天王寺支部支部長など同窓会の運営にお力添えをいただきました。

またハワイアン音楽がお好きで自らのハワイアンバンドを持ち、長年にわたりスティールギターのプレイヤーとしての一面を持っておられました。

ご遺族 三男 博隆様

学部6期 中谷敏和先生

令和7年1月17日急性心筋梗塞にて逝去 (92歳)。

昭和32年卒。

卒業後、大阪大学第一内科に入局。その後市立貝塚病院にご勤務され、昭和43年に貝塚市にて内科をご開業され、地域医療に尽力されました。

ご遺族 妻 壽子様

学部7期 久保田昭先生

令和7年3月13日老衰の為逝去 (91歳)。

昭和33年卒。

卒業後、昭和38年に母校大学院を修了し学位を取得された後、神戸市中央区にて産科・婦人科医院をご開業されました。令和4年に閉院されるまで約50年の長きにわたり地域医療に貢献されました。

ご遺族 妻 峰子様

学部9期 納田嘉久先生

令和7年2月10日肺炎の為逝去 (90歳)。

昭和35年卒。

卒業後、母校大学院に博士課程に進まれ昭和40年に卒業され鳥潟病院に勤務されました。昭和58年から平成12年まで鳥潟病院整形外科部長をお務めになっておられました。

ご遺族 長男 真也様

学部16期 椋棒有子先生

右腎盂がんにて逝去 (82歳)。

昭和42年卒。

卒業後、昭和47年に神戸大学大学院にて医学研究科を修了され、神戸大学病院の助手として勤務されました。

昭和51年には同大学病院講師をお務めになられました。昭和53年からは神戸海岸病院、小野市民病院、神戸海星病院、神鋼加古川病院などでご勤務をされ地域医療に携わっておられました。

ご遺族 夫 正博様

学部18期 幾井建臣先生

令和6年3月30日前立腺がんの為逝去 (80歳)。

昭和44年卒。

甲南大学を卒業後、母校に入学され、卒業後は母校の皮膚科学教室に入局されました。その後、西宮市にてイクイ皮膚科クリニックをご開業され、地域医療に貢献されました。

ご遺族 次男 重行様 (学47期)

学部23期 生田邦夫先生

令和6年11月25日呼吸不全の為ご逝去（76歳）。

昭和49年卒。

卒業後、母校附属病院で研修を積み、昭和51年に枚方市民病院の外科に勤務されました。その後兵庫県の神崎町病院胃腸外科でのご勤務を経て、昭和56年には滋賀県甲賀郡甲西町にて生田胃腸科・外科・内科を開院されました。平成元年に医療社団法人美松会を設立され理事長にご就任されました。平成4年に三重県阿山郡に河合診療所を開院、平成11年には医療法人阿山共生会を設立され、理事長にご就任。令和2年から令和6年まで滋賀県湖南市長をお務めになっておられました。

ご遺族 妻 由紀美様

学部23期 石原一秀先生

令和7年2月2日致死性不整脈にてご逝去（77歳）。

昭和49年卒。

卒業後、神戸大学医学部附属病院に入局され、昭和50年に加古川市民病院にご勤務されました。昭和51年には神戸大学附属病院第二内科でご勤務された後、

加古川病院、神戸大学附属病院中央検査部、兵庫県立加古川病院でのご勤務を経て、昭和61年に神戸みなと病院の副院長にご就任されました。平成元年には山本胃腸科医院をご開業され地域医療に貢献されました。

ご遺族 妻 静子様

学部23期 田窪良行先生

令和7年1月15日 誤嚥性肺炎、敗血症、急性腎不全にてご逝去（76歳）。

卒業後、大阪市立小児保健センター、大阪市城東区、住之江区など多数の保健所で所長をお務めになり地域医療に尽力された後、大阪市立環境科学研究所の所長をお務めになっておられました。

ご遺族 妻 久仁子様

学部25期 西 厚生先生

令和7年2月18日肺がんの為ご逝去（75歳）。

昭和51年卒。

卒業後、岡山県高梁市にて内科をご開業され地域医療に貢献されました。

編集部より

会費納入のお願い

年会費

令和7年度 10,000円

令和6年度 10,000円

令和5年度 10,000円

納入のご協力をよろしくお願い致します。

事務局 会計係

原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。日々の診療で感じられた事、研究報告、趣味のお話やクラス会や支部会のご報告なんでも結構です。

ご投稿お待ちしております。

●56巻4号（令和7年7月1日発行）

締切 令和7年5月末日

●56巻5号（令和7年9月1日発行）

締切 令和7年7月末日

●送付先：仁泉会事務局 〒569-8686 高槻市大学町 2-7

E-mail：jimu@jinsenkai.net FAX:072-682-6636

編集後記

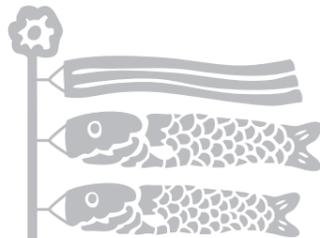
いつも仁泉会ニュースをご愛読いただき有難うございます。

今年も春が巡ってまいりましたが、この時期はいろいろと異動が多い時期です。母校では卒業式、そして入学式。あらたに教授に就任された先生や新規開業された先生の記事などが今号に掲載されています。新しい道を歩み始めた方もあれば、一方で今までの役職やお

仕事を終わられて、ゆっくりと過ごされている方もおられると思います。勤務先が変わった方や、昇進された先生方もおられるでしょう。小さな変化から大きな変化までそれぞれにあったのではないのでしょうか。

新たなスタートを切った方々には頑張れのエールを。一休みされる方には今までのご活躍への感謝を送りたいと思います。 (治)

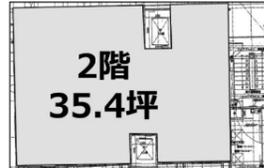
開業しました！ 王 衣里子先生 (学 58 期)
名称 おおしま糖尿病・甲状腺クリニック
住所 〒567-0806 茨木市庄2丁目19-14 3階
電話 072-646-6816
FAX 072-646-6817
診療科目 糖尿病、甲状腺疾患、泌尿器
診療時間 月～金 9:00～14:00 土 9:00～17:00 (土曜は泌尿器科専門医師の診察です。)
休診日 日・祝日
ホームページ https://oshima-naika.jp/
E-mail info@oshima-naika.jp
仁泉会の先生方に一言 阪急総持寺駅前の大島整形外科の3Fに新規開業いたしました。どうぞよろしくお願ひ致します。



テナント募集 消化器内科・内科の承継物件

場所：大阪市浪速区難波中 2-3-3
募集科目：皮膚科・婦人科を除く全科目
※推奨科目：消化器内科・内科

募集区画：2階 35.4坪



- 角地に面しており、視認性良好です
●乗降客数の多いなんば駅からのアクセスが抜群です
●皮膚科・婦人科盛業中の医療モールです



- 5F：婦人科クリニック
4F：皮膚科クリニック
3F：美容エステ
2F：募集区画
1F：日本調剤なんば薬局

- ★各階盛業中
★南海電鉄「なんば」駅 徒歩2分



- エレベーター設置
■内視鏡、腹部・心臓工コー、X線設備等は譲渡対象です。(金額等応相談)
○昼夜通して人通りの多いエリアです。周辺はショッピングモールが多く立地しており、視認性抜群です。
・賃貸借契約にあたっては、調整・打ち合わせが必要になります。
・建物外観や仕様・契約面積等は変更になる可能性があります。

お問い合わせ先
仁泉会事務局：TEL 072-682-6166
FAX 072-682-6636
e-mail jimu@jinsenkai.net

求人

週4.5！高給与 働きやすさ抜群！

海のそば愛媛でゆっくりしませんか？

募集内容

専門は問いません

内科・外科 可！

療養病床の入院患者に対する最低限の内科知識があればOK！

年収2000万～（当直代含む）

当直は週1回程度、寝当直です

残業もほぼなく、早上がりもあり！

他医師との調整で

お休みも取りやすい環境です！

赴任時の引っ越し費用なども

補助あります

ご連絡先

〒796-0047

愛媛県八幡浜市白浜通1536-118

医療法人福寿会 宇都宮病院

理事長 宇都宮 栄 (学56期)

TEL:0894-22-0163

Mail:info@utsunomiya-hosp.com

採用担当：黒田



大阪医科薬科大学女性医師の会 第4回医療講演会のご案内

拝啓

新春の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、「女性医師の会」第4回総会および医療講演会を下記の通り開催いたします。本会は、「思いやりと情熱を持った女性医師を目指して～学年、世代、専門性を越えた生涯変わらない同窓生のつながり～」をテーマに、年に1回 美味しいお食事をいただきながら語り合い、学び、刺激を受ける貴重な場となっています。この数時間だけは仕事などから少し離れ、美味しい食事と楽しいひとときをご一緒できればと思っております。ご参加いただくことで、改めて「この会合って、こんなに楽しいものなんだ！」と感じていただけるはずです。

なお、昨年までの2回はオンラインと現地のハイブリッド開催でしたが、「現地で感じる同窓の波動こそが、この会の醍醐味」との思いから、今年より現地開催のみとさせていただきます。

皆様とお会いできることを楽しみにしておりますので、ぜひご参加ください。

記

日時：令和7年6月14日（土）午後4時 受付開始
午後4時30分～5時45分 総会および医療講演会（男性可）、午後6時～8時 懇親会
医療講演会「（臨床）法医学の仕事と社会活動 ～ 性被害への対応も含めて～」
講師：山口大学大学院医学系研究科 法医学講座 教授 高瀬 泉先生（学47期）

場所：ホテルグランヴィア大阪 20階
総会及び講演会：孔雀の間 写真撮影：浪速の間 懇親会：鳳凰の間

会費：10,000円※、2,000円（講演会のみ）
※令和6、7年に大阪医科薬科大学ご卒業の先生は5,000円

出欠登録：2次元コードか、URL <https://forms.gle/iW7SSBTWdjMBqk3s8> からご登録ください

※出欠登録を事務局で代行させていただきます。

メールかFAXで、①～④をお送りください。

メール宛先：omc-women@jinsenkai.net（件名：出欠登録）

FAX 072-682-6636

①氏名（旧姓）、②卒業年度もしくは学期、③メールアドレス、④懇親会参加の有無



出欠登録

参加登録：5月27日

締め切り：なお、アレルギー食とお子様向けのお食事は5月24日までにご登録ください。

【ホームページのご案内】

女性医師の会では、近況報告やイベント情報などを共有できるホームページを運営しています。

会合のご案内等を送らせていただきますのでメールアドレスをご登録下さい。

宛先：omc-women@jinsenkai.net（仁泉会事務局内、女性医師の会）

件名：メールアドレス登録

登録内容：①氏名（旧姓）、②卒業年度もしくは学期、③メールアドレス



ホームページ

大阪医大 女性医師の会 検索